

議案第79号 平成29年度介護保険事業特別会計補正予算 【日本共産党】

問今年度の地域支援事業の見直しは。

答主なものとして3つ、包括的支援事業・任意事業、介護予防・生活支援サービス事業、一般介護予防事業がある。各事業のさらなる周知啓発を図り、年度計画に基づき着実に実施したい。

問保険給付費等準備基金の今後の活用は。

答本年度は、3年に1度の保険料の改定年度であり、これまでの積立額を次期保険料の上昇を抑制するため有効に活用する。

問介護保険法の改定はど

議案第80号

大学奨学金基金条例

【無所属】

問議案第71号に懸念が生じ撤回したということはどのようなことか。

答これから同様な寄附があった場合に同じように条例名に氏名を入れるの

問今年度の地域支援事業の見直しは。

答高額介護サービス費の自己負担上限額引き上げ、第2号被保険者の保険料への総報酬割の導入、介護報酬改定、介護医療院創設、所得水準が現役世代並みの利用者の自己負担割合の2割から3割への引き上げなどである。



かという問題、限られた期間だけ奨学金を受け取

られる人があるのではないかとということについて懸念があることである。

問犬竹氏の名前を削除し

た理由は。

答寄附者の意思を尊重した奨学金制度を長く維持できるよう、個人の名称を削除し、趣旨に賛同する人の寄附を集めたいという考え方である。

問今回このような提案の仕方は非常にまずいと思うがいかがか。

討論

今定例会最終日に、次のような討論が行われました。

議案第58号

反対

【日本共産党】

市民の収入は伸び悩み、消費は低迷、景気回復とはほど遠く、アベノミクスは機能していない。国が進める「地方創生」は地に足がつかず、地方交付税が減らされる状況では市の財政は悪化が懸念される。2期8年の川合市政で高齢者施策が削減されてきた。東後楽会館

答さまざまな質疑の中で指摘を受け、それをもつともなことであると感じ、撤回、再提出という手続きを踏んだ。やむを得ないことだと考えている。

本質疑は、9月19日に上程された議案に対するものです。

議案第77号

反対

【民進党】

長期間にわたり債務超過が続いてきた株式会社まちづくり川越が産業観光館昭和蔵改修事業において、自らは一切費用負担することなく何ら責任を負わず、川越市の一般財源と埼玉県の補助金約4570万円を投じて本事業に取り組んでも、到底、産業観光館の活性化を図れるとは考えられず、川越市民の大事な税金が無駄な支出になる事は自明の理である。加えて申し上げれば、産業観光館の新たな活用や活性化に取り組みのであれば、市長をはじめ執行部は、株式会社まちづくり川越を選んでしまった自らの責任とともに、現在の指定管理者の経営責任をしっかりと問い、平成32年の指定管理者の改選時期と合わせて新たな事業を行っていくべきである。

豆知識

議案第58号における財政用語の説明です。

●実質収支比率とは

歳入歳出差引額から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額の妥当性を判断するための指標。

経験的には3~5%が望ましいと考えられている。

●市債とは

市が建設事業等の財源を調達するために行う長期の借金のことをいう。

●公債費とは

市が借り入れた借金の元金と利子の償還金のことをいう。

